

令和5年度 地域懇談会課題（要望）一覧

自治会名	No	議題・要望内容	回答	担当課
喜舎場	1	枝木のゴミ出し方法について	枝木については、60cm幅に切断後ビニール紐で束ねて出していただくようお願いいたします。 ゴミの出し方については、パンフレットの窓口配付や村ホームページでもご確認できます。	住民生活課
	2	ゴミ袋のUタイプへの変更について	Uタイプのごみ袋への変更を予定しています。	住民生活課
	3	村道仲順屋原線（あやかりの杜～屋原、あやかりの杜～喜舎場）の道路改修について	あやかりの杜～屋原間については、現在改修に向けて設計を進めています。また、あやかりの杜～喜舎場間については、令和6年度に設計業務の予算計上を予定しています。	建設課
	4	吉嶺から喜舎場地区へ抜ける道路の拡張について	当該箇所については、筆界未定地となっており用地確保が難しいため道路拡張が困難な状況です。また、一方通行についても周辺住民の同意を得ることが難しいことや、前後の道路整備も必要になるため、すぐに対応する事は難しい状況であることをご理解いただきたいと思ひます。	建設課
	5	あやかりの杜付近からイオンモールまでの道路の新設について	高低差があり、地すべり区域に該当することから技術的にもかなりハードルが高いと考えております。共同のまちづくりの計画を進める中で、新たな道路として位置づけ可能か検討いたします。	建設課
	6	喜舎場スマートインターチェンジのフルインター化、県道81号線の道路拡幅の状況について	当地区については、令和6年度以降に約5haの返還が示され、フルインター化を目指し関係機関と調整していますが、返還時期等が不透明な状況で具体的な取り組みが進められない状況です。また、県道拡幅については、県に要請をしており、早期の基地返還に向けて取り組んでおります。	企画振興課
	7	石平から国道58号線までの道路の新設について	石平～国道58号の道路新設について計画はありません。要望については今後検討いたします。	建設課
	8	喜舎場地区からあやかりの杜までの区間に設置されている防犯灯の修繕について	早期に修繕対応できるように進めております。（令和5年度実施予定）	建設課
	9	基地内にある戦前の石造り墓の文化財としての保存継承について	手続きに則って資料の整理、出土品の洗浄などを実施し、データでの記録保存を進めております。そのままの状態での保存できるかは検討が必要になります。	生涯学習課
	10	喜舎場地区における「果物の豊かな里づくり」への取り組みに対する村のサポートについて	自治会から要望があれば検討いたします。	企画振興課
	11	役場窓口の手続きの一元化について	今年度、必要な手続きのパンフレットを作成し、スムーズに手続きできるよう案内に努めております。すぐに手続きの一元化は難しい状況ですが、対応可能な部分から取り組んでまいります。	総務課
	12	防災無線の難聴地域への対応及びデータ放送の活用による自治体情報発信について	防災無線が聞きとれなかった場合の問合せ番号を広報誌に掲載し、改めて周知いたします。データ放送については対応可能か確認いたします。	総務課
	13	地域内へ抜ける道路の一方通行指定について	一方通行の指定については、周辺住民の同意を得る必要があり、また、一旦規制をかけると簡単には解除できないため、十分検討が必要であると考えます。	総務課
	14	小学校から県道81号への接続道の信号設置やお譲りゾーン等の対策について	信号設置は公安委員会の判断になりますが、この短い区間での信号設置は難しいか考えます。カラー舗装などで視覚的に訴える方法が実現可能か考えます。	総務課
熱田	15	小学校スクールバスの高学年までの利用対象者拡大について	高学年まで利用者を拡大した場合、現在のバスの定員数を超えるため、ルート変更や増便等を含めて検討いたします。	教育総務課
	16	東部地域への児童館等の整備について	児童館など公共施設は東海岸地域にない状況であり、行政の課題と考えています。改善策については今後検討していきます。	福祉課
	17	幼児教育に関わる教員の研修等について	幼稚園と喜舎場保育所の職員交流、他市町村との研修等に参加しています。今後も村内研修、他市町村との研修・交流の機会を設け、参加を促していきます。	教育総務課 福祉課
	18	地域コミュニティの活性化及び公民館で子ども達を見守る環境づくりに関する支援について	高齢化、自治会加入率の低下は行政としても課題と考えています。子ども会、青年会、老人クラブ等の組織の元気が自治会の活性化、村の活性化につながると考えております。公民館の活用や子どもを見守る環境作りに関する助成金については、自治会育成交付金の活用を検討していただきたいと考えています。また、公民館を利用する際の傷害保険については、人への補償も対象になると考えています。	総務課 生涯学習課
	19	子どもの居場所づくりとしての公民館の活用について	公民館を活用し、人員配置による子どもの居場所づくりの対応について、実施可能か関係課と検討したいと考えています。	総務課 福祉課
	20	中部広域都市計画区域への移行について	中部広域への移行を念頭に中城村との「共同まちづくり」計画を策定いたしました。具体的にまちづくりの方向性を定めるため「立地適正化計画」の策定に取り組んでまいります。沖縄県の都市計画の見直し時期の令和9年度の変更にむけて、作業を進めているところです。	建設課
	21	学びたい意欲がある子が費用を気にせず通いやすい学習環境づくりについて（子ども会に加入すればちむあぐみ塾にも加入できる仕組み等）	ちむあぐみ塾の運営に係る予算を自治会へ交付しています。ちむあぐみ塾の運営は各自自治会に任せていますので、費用については自治会と相談していただきたいと考えています。	生涯学習課 総務課
	22	地縁団体への移行について	自治会が財産を所有するためなど、法人格を有した方がいいと判断した場合に当制度を活用しております。地縁団体への移行については、各自自治会で判断していただきたいと考えています。	総務課

瑞慶覧	23	国道330号から沖縄アリーナ向けの左折レーンの設置について	国道の道路管理者は南部国道事務所になります。左折レーンの設置については、道路管理者の判断となります。	建設課
	24	地区内の道路拡幅、新設について	行政では、個人の土地活用のために道路を整備することは困難です。生活道路の整備は、まちづくりの一環として幅広く意見を集約して検討する必要があります。	建設課
	25	平和行政への村の取り組みについて	平和を守る村民の会での県民大会への参加など、引き続き、平和行政の推進に取り組んでまいります。	総務課
	26	トレーニングジムの整備について	トレーニングジムについては、体育館施設内への設置の可能性など関係課と調整したいと考えています。	生涯学習課
	27	地域コミュニティの低下、地域活動の担い手不足解消に対する取り組みについて	他の自治会でも子ども会、青年会、老人会等の会員数は減少傾向にあります。行政としても地域力を高める取り組みを推進してまいりたいと考えております。	総務課 生涯学習課
	28	地区の特殊事情に配慮した公民館の改築、宅地の整備への許可について	村に許可権限がある内容については、必要性に応じて配慮することも検討いたします。	生涯学習課
	29	スポーツ広場へのバスケットコート整備について	当広場は、自治会所有の土地であり都市公園として整備できません。自治会から村所有へ移管した場合においても、都市公園として整備する場合、他地区に優先して整備する公園施設があり、順番待ちとなります。	建設課
和仁屋	30	コミュニティバスのバス停の公民館等への設置について	令和6年2月にルートの変更を予定しており、石平地区、瑞慶覧地区、島袋地区の東部へのバス停設置を検討しております。現時点では更なるルート拡大により各地域の住宅街まで入ったバス運行は時間がかかり難しい状況です。	企画振興課
	31	高齢者の移動利便性向上に係る福祉バスの導入について	協議体の場で住民の声も聴きながら必要な手段を考えていきたいと思ひます。	福祉課
	32	歴史的な道「カッチン道」「ナカシビラ」の整備について	歴史的な価値があるのか検証、調査をしたうえで判断する必要があります。また、村内各地に同様の旧道がありますのでそこも含めて整備を検討してまいります。	生涯学習課
	33	中城公園内のダムの水利用について	ダムの水利用について、泥の堆積等により農業用水として使用することは難しいと考えておりますが、東海岸地域への水路整備の可能性について公園管理者である沖縄県にも意見を伺いながら検討してまいります。	農林水産課
	34	災害時の避難場所、避難経路の整備について	自治会より提案していただいた場所は土砂災害警戒区域、土石流警戒地域に指定されており整備が難しい区域になっています。津波等の避難として高台に逃げるため和仁屋地区では里道を通して仲順方面へのぼる方法が現時点での避難経路になると考えています。	総務課
	35	避難場所としての私有地の活用について	避難場所については私有地であれば土地所有者との相談になりますので場所を確認しながら検討したいと思ひます。	建設課
	36	南米研修生の受け入れ体制について	受け入れ家庭を探すのが困難な状況で事業執行に苦慮しています。受け入れ家庭の確保については、関係者、団体等と連携していきます。	総務課
	37	健康長寿の村としての取り組みについて	村では介護予防として各公民館での自主体操サークル等を行い多くの高齢者に参加いただいでおり、介護保険料の受給が下がっている実績につながっています。また、今年11月6日に「健康長寿の村きたなかくすく宣言」を採択しました。高齢者に限らず、若い方から企業まで健康長寿村を取り戻そうという取り組みを今後も村全体で行いたいと考えています。	福祉課
	38	ゲートボールの推進について	本村としても村全体に広まってほしいと思ひています。村老人クラブ連合会ともアイデアを出しながら、「健康長寿の村づくり」の取り組みとしてもゲートボールを1つのキーワードとして活用していけたらと思ひます。	福祉課
	39	野良猫のフン被害等への対策について	沖縄県内でも各自治体で条例制定に向けた動きも出ているので情報収集しながら進めていきたいと考えています。	住民生活課
	40	北中城村のまちづくり戦略について	北中城村では「人と緑が輝く健康長寿と文化の村」という将来像を立て、ソフト面では、安心安全な子育て環境の充実や高齢者の活動促進に力を入れています。ハード面では多目的交流施設の整備や、農を活かした健康福祉の里づくり事業を進めております。	企画振興課
41	行政改革及び議会への陳情、請願の取り扱いについて	行政改革についてはしっかりと進めていきたいと考えています。議会への陳情、請願に係るご意見は議会にお伝えしたいと思ひます。	総務課 議会事務局	
渡口	42	コミュニティバスの運行継続について	令和6年度も継続して運行する予定です。令和6年2月にルートの見直しを予定しており、現在コミュニティバスが通っていない石平、瑞慶覧、島袋の東側を含めたルートを検討しています。月に約1,500名程度利用されています。高齢者の方や観光客も一定数乗車していただいでいます。	企画振興課
	43	渡口土地改良区の農道から流れる雨水への対策及び斜面地の土砂流出について	現在、現地を確認して水路を通せるのか確認しています。他の畑への影響も考慮する必要がありますがあるので十分な検討が必要になります。斜面地の土地については、私有地である場合は基本的には所有者の責任において対応することになります。水路に土砂が埋まっている場合は、排水のために農道部分に関して対策をすることになります。	農林水産課
	44	防犯灯の維持管理費の負担について	本村は、円滑な村政運営及び村民福祉の向上を目的に自治会育成交付金を交付しており、他市町村と比較して手厚く支援している状況にあります。昨今の物価高騰の影響等もあると思ひますが、維持管理費の負担については引き続き自治会においてご負担いただくようご理解お願いいたします。	総務課 建設課
	45	県道81号線への防犯灯設置について	防犯灯の設置については、県道管理者との調整もありますので自治会から要望を提出していただければ検討いたします。	建設課
	46	みどり公園への障害者用トイレ、洋式トイレの整備について	他の公園も老朽化が進んでおり、公園施設自体なかなか補修できていない状況です。優先度の高いところから整備してきたいと考えております。	建設課 総務課
	47	多目的交流施設（アリーナ用地）の駐車場整備について	村民体育館の駐車場不足の解消も踏まえながら、施設整備について検討いたします。	生涯学習課
	48	渡口公民館を台風時の避難場所とすることについて	中央公民館を避難場所としており、当施設での避難者受入体制の整備に多くの人員を配置していますので、渡口公民館を避難場所として運営することは難しい状況です。物資の提供については可能です。	総務課

仲順	49	和仲トンネルでの防災訓練の実施及び防災トイレ、かまどベンチ、応急給水槽の整備について	防災用トイレは周辺の下水道状況を確認して整備可能か検討いたします。ベンチは公園整備事業として計画することも考えられますが、自治会でも部落補助で取り組んでいけないかご検討いただきますようお願いいたします。給水槽については衛生面が懸念されるため、給水車の対応を検討することも考えられます。	総務課
	50	老朽化した中央公民館の災害時の活用及び防災拠点として整備された村民体育館の災害時の活用について	中央公民館は生涯学習課が常駐しているため避難場所として展開しやすい点から使用していますが、災害の種類によっては中央公民館は適さないため、今後は村役場での対応を考えています。村民体育館については、大規模災害に備えた避難施設としており台風等の避難は想定していません。今後の活用については検討していきたいと思っております。	総務課
	51	老朽化したブロック塀の点検について	通学路にあるブロック塀については点検を実施し、倒壊しそうな塀については管理者へ修繕、撤去をお願いしています。	建設課 教育総務課
	52	小学校スクールバス運行時の体調急変や置き去り等の対策について	児童置き去りについては、置き去り防止装置を取り付けており降車時の確認も実施していますが、添乗員については不在の状況です。走行中の不測の事態への対応について今後検討してまいります。	教育総務課
	53	村道仲順比嘉線（吉嶺から琉球銀行まで）の道路の安全対策について	ハンプの設置について検討しましたが、下り坂への設置は危険が伴います。また、道路幅員の確保や防災の観点から電柱地中化による改善の必要性を感じていますが高額な費用がかかります。共同まちづくりの中で新しい道路を村内でどう整備していくのかを含めて検討したいと考えています。	建設課
	54	琉球銀行前の交差点における安全対策（時差式信号の設置など）について	警察署からは時差式信号の設置については設置が困難である旨の回答を受けていますが、対策として信号機の点滅間隔を調整する対応をしていただいております。	教育総務課
	55	さくら猫（地域猫）活動の推進について	県内全域で実施していた事業で、専任の方もボランティアになるため、村としても、ボランティアや関係機関と相談しながら今後検討していきたい。	住民生活課
	56	台風で破損したカーブミラーの修繕について	年内を目処に復旧していきたいと考えています。（令和5年度対応済）	建設課
	57	多目的交流施設の検討状況及び駐車場計画について	アリーナ計画に沿いながら中央公民館の一部機能を備えた施設整備を考えています。また、駐車場を確保するため、階層を上げるなど検討してまいります。建設中は駐車場が不足することが想定されますので、建設中の駐車場確保についても検討してまいります。	生涯学習課
	58	公園の死角対策への取り組みについて	短期的には公園内の樹木の伐採等、適正な公園管理に努めることで対応していきたいと考えています。長期的には公園施設を改修する際に対応してまいります。	建設課
59	県道81号バイパス下の排水路の管理、整備について	当該箇所草が排水に支障がないように努めますが、地域の皆様にもご協力いただきたいと考えています。また、側溝が老朽化して機能していない状況であれば対応を検討いたします。	建設課	
屋宜原	60	住宅建築に係る地区内の袋地問題等の改善に向けた取り組みについて	基本的には個人で接道を確保して建築することになります。行政としては、市街化調整区域でも開拓できるような取組をということで、線引きのない中部広域を目指して取り組んでいます。	建設課
	61	袋小路や行き止まり道路での住宅建築の対応及び村への土地提供による道路整備について	建築基準法の道路への接道が建築確認に必要な条件になっており、各自接道を確保して許可を得ています。市街化調整区域においても、条件を緩和できることもありますのでご相談ください。また、土地の提供による村の道路整備の可能性については、共同のまちづくり計画で検討してまいります。	建設課
	62	北中城村における新たな道路整備計画について	屋宜原公園の北側に新しい道路の整備計画が検討されていましたが、用地交渉が難航しており、現在中断している状況です。今後、用地交渉が進めば整備を検討してまいります。	建設課
	63	イオンモールからアリーナ、イオンモールから中部徳洲会病院を結ぶ陸橋計画について	歩道橋については、防災拠点として計画がありましたが、費用が高額で実施に至っていません。アリーナ計画の見直しと併せて検討していきたいと考えています。	建設課
	64	中部広域へ移行した際の屋宜原地区の土地利用について	中部広域都市計画区域へ移行する場合においても、保全と開発のめりはりをつけてまちづくりを計画いたします。	建設課
	65	住宅駐車場の沈下に対する災害の補助金等の対応について	私有地については、個人で対応することが前提ですが、災害など多くの人に危険が伴う場合は補助事業の対象となるケースもあり、その場合は県の地すべり対策事業について村から県へ相談することは可能です。	建設課
	66	老朽化等で危険な空き家等に対する行政代執行の実施について	土地所有者が不明な場合等で一定の条件を満たせば行政代執行は可能ですが、行政代執行の必要性については状況を見ながら慎重に対応する必要があります。空き家対策は全体的に問題となっているので、事例を調査しながら対応を検討いたします。	建設課
	67	農を活かした健康福祉の里づくり事業の進捗及び費用負担について	平成28年度から始まり、第1～第6段階を基本計画として進めているところで、第1段階について昨年より着手しています。次年度から第2段階の現地調査や詳細設計等に取り組む計画です。第3段階が医療福祉関係の民間業者と取り組むために準備中で中部土木事務所と調整中です。事業費に関しては、各段階で利用する補助金が異なります。第一段階は沖縄振興特定事業推進費を活用し、第二段階は農林水産省に關係する補助メニューで申請に取り組んでいます。第三段階は厚生労働省関連の補助メニューというように、各段階の事業内容に沿った補助金を探してきて申請する手続きが必要です。村を仲介せずに、国から直接民間に交付する補助メニューがあるので、それを探しながら取り組んでいます。	農林水産課
	68	公営墓地における生前墓制度の導入について	生前墓については、時期尚早ではないかと考えているが、応募しても集まらない状況があれば検討委員会等に回り、検討していきたい。今後募集要件を含めて、検討委員会等で検討していきたいと考えております。	住民生活課
	69	防犯灯、カーブミラーの修繕について	台風の影響により村内各地で防犯灯及びカーブミラーの修繕が必要になっております。早期の修繕対応に努めてまいります。（令和5年度対応済）	建設課
70	地区内にある文化財の調査及び保全について	現地確認後、対応について検討してまいります。	生涯学習課	

団地	71	地域通貨まーいの利便性向上（商品券の発行、対象店舗の拡大等）について	電子版のほか、カードタイプも発行していますのでご利用ください。補助金を活用しているため、使用期限を設定する必要があることはご理解いただきたい。対象店舗を増やせるよう、事業を継続できるよう検討していきます。	企画振興課
	72	地区内の土砂崩れ対応について	台風6号の通過後、村内各地で土砂崩れがあり、村で応急対策しておりますが、当該道路は県が管理している道路になるため、村からも県に対し早めの対策を要請してまいります。	建設課
	73	台風時に隣接地から団地敷地内へ飛んでくるゴミ対策について	村から隣接地の管理者には整理、片付けについて対応するよう通知していますが、再通知いたします。団地周辺のゴミ対策については、クリーンアップ作戦など自治会の皆様にも清掃活動等ご協力いただいております。今後ともご協力をお願いいたします。	農林水産課
	74	団地西側の水路沿いの道に堆積している軽石やゴミの対応について	護岸のコンクリートの部分は県の管理施設（管理道路）になっております。ご要望については沖縄県へ報告いたします。	農林水産課
	75	団地前の村道の車両の減速対策及び道路白線の補修について	北中城小学校前に試験的に導入しているハンプでの対策等について対策を検討してまいります。また、道路白線については財政状況を踏まえ対応を検討してまいります。	建設課
	76	ダンプトラックによる道路の汚れに対する指導について	村としても当事者へ指導しているが改善されない状況ですので、沖縄総合事務局に相談しています。また、赤土流出防止の観点から県保健所に対して自治会から要望を出していただくことも考えられますのでご検討ください。	建設課
	77	破損したフェンスの修繕について	管理者を確認し、村の管理であれば早めに修繕対応いたします。また、沖縄県の管理であれば、県に対応を依頼いたします。	建設課
	78	公共交通の利便性向上について	路線バスについては、運転手不足やバス利用者の減少等による減便、廃路線化が進んでおります。他の市町村でも同じ課題を抱えている状況があり、公共交通のあり方については、別の方法についても庁内や中部市町村の情報交換の中で検討してまいります。	企画振興課
	79	小学校スクールバスの利用対象者拡大について	高学年の利用拡大については、すぐに実施するのは難しい状況ですが、段階的に拡充できるか検討しております。	教育総務課
	80	東海岸地域の遊休地を活用した商業施設の誘致について	東海岸地域は農業振興地域に指定されている地区が多く、用途が制限されております。また、多くの土地が私有地であることから、村主体で土地利用することは困難な状況です。	農林水産課
	81	子育て給付金等の早期の給付対応について	早めに給付できるよう対応を検討してまいります。給付体制の検討・整備などに時間を要することはご理解ください。	総務課 福祉課 企画振興課
	82	街灯や防犯カメラの設置について	設置希望場所の施設管理者に対する要望など、自治会と調整して進めてまいりたいと考えています。	建設課 総務課
島袋	83	調整池の計画状況及び5号調整池と並行した4号調整池の整備について	1～3号調整池は既に供用開始しています。5号調整池については、補償関係で難航していますが、一部設計変更を行い整備を進めてまいります。4号調整池については、費用対効果が懸念されており、慎重な対応が求められることから、5号調整池整備後に効果を検証したうえで整備について検討してまいります。	上下水道課
	84	多目的交流施設の状況（アリーナ問題）について	地権者との用地交渉については概ね完了しており、規模縮小による整備を計画しております。当初の目的に沿うような機能を有する施設の整備について検討・計画してまいります。	生涯学習課
	85	地区内の老朽化した道路標識等の修繕や危険箇所への注意喚起看板の設置について	交通規制については、警察と調整を図ってまいります。注意喚起の看板については、自治会と相談しながら対応を検討いたします。	総務課
	86	農振農用地の除外及び遊休地の活用検討について	農業振興地域の除外については、農振法の手続きに則り進めていくもので、容易に除外できるものではありません。遊休地の活用については、中城村との共同まちづくりを機に土地の有効利用について検討してまいります。	農林水産課
	87	島袋地区の下水道の普及状況及び普及推進の取り組みについて	島袋地区の状況は、行政人口5,065人、処理区内人口3,066人、水洗化人口1,869人、処理区内世帯数1322世帯、水洗化世帯804世帯です。村全体では、水洗化率が73%、整備率が68%です。今年から新たな交付金を活用し事業を拡大しています。下水道の普及については普及促進員を配置しており、整備された区域に関しては、普及促進員で個別の案内をしている所もあり普及率の向上に取り組んでいます。	上下水道課
	88	下水道普及に関する村ホームページ等による周知方法の改善について（接続可能地域、施工業者など）	いただいたご意見を踏まえ改善できることから対応していきたくと考えています。	上下水道課
	89	老朽化等による公園遊具の撤去対応について	遊具については安全確保の観点から撤去を優先しています。村内の公園遊具の多くが老朽化しており遊具の新設が困難な状況ですが、可能な限り早めに設置できるように努めます。	建設課
	90	火葬場の整備について	火葬場については村単独での整備は難しい状況であり、現在、近隣市町村と調整してプロジェクトチームに参加しています。	住民生活課 企画振興課
	91	中部広域都市計画区域への移行について	No20と同様	建設課
	92	懇談会等、村民の意見を聞く・知る機会の設置について	役場に投書箱を設置しています。また、行政に対する要望については、自治会長を通して要望いただきたいと考えています。今回の懇談会でも頂いたご要望を実現するためにこれから方策を庁内で検討し、要望に応えられるようなまちづくりをしていきたいと思うのでご理解いただきたい。	総務課 企画振興課

石平	93	石平地区と県道81号線の接道部分への対策について	安全の確保が最優先と考えています。また、代替道路の整備についても周辺が崖地で勾配があるため難しい状況です。地区入口の表示等や見通しを阻害している県道樹木（アカギ）への対応に関する要請は可能であると考えています。	建設課
	94	石平地区を通るマンホールの管理に係る村の対応について	村の管理として位置付けられていない設備について、村としてもすぐに対応は難しい。自治会と調整しながら日常的な管理は地域にお願いしています。大きな補修等については村で対応する方向で取り組んでいる状況です。どのような方法で整備をされたのか等を確認し、今後の対応を検討したいと考えています。	上下水道課
	95	防犯灯の設置、修繕について	防犯灯の設置方法をリース契約にして、リース会社に補修をしてもらう方法にできないか検討しているところです。	建設課
	96	中学校の通学バスの導入について	スクールバスについては北中城小学校の登校バス（低学年対象）運行を開始したところですが、中学校までの拡充については財政状況を踏まえ対応を検討してまいります。	教育総務課
	97	地域懇談会の在り方について	対応できない案件もありますが、マンホールの責任の所在等をはっきりさせることや、県道への対策やアカギの剪定など要望いただいたことなどを県と協議する等、対応可能なものは取り組みますのでご理解いただきたい。	企画振興課
安谷屋	98	安谷屋地区への下水道整備について	安谷屋地区の下水道整備については、令和6年度に国道や県道との協議、令和7年度から国道の工事ができればと考えています。国道の工事は4年程度かかる見込みで、その後に石平地区の整備を実施する計画になります。	上下水道課
	99	野良猫被害に対する条例の制定、さくら猫（地域猫）の取り組みについて	条例制定については、動物愛護の観点など様々な視点から検討する必要があると考えております。さくら猫の取り組みについては、地域や関係機関等とも連携しながら対応してまいります。	住民生活課
	100	県道81号線への信号機設置及び道路白線の補修について	信号機設置については、交通量、危険性はどの程度あるのかというのが最終的な評価となってきます。加えて、今県道の拡幅工事の予定があり、将来的にここがどのようになるのか考えると現段階で信号機設置はかなり厳しい状況ではないかという考えです。県道146号線の件と併せて、関係機関の方にお話を伝えていきたいと思っております。	総務課
	101	地区内の道路拡幅について	共同まちづくりにおける地域との意見交換を踏まえて検討していきたいと考えています。	建設課
	102	道路の地盤沈下への対応、道路白線、アスファルト整備について	地盤沈下への対応については、財政状況を踏まえ対応を検討してまいります。白線については、幅員が狭いため現時点では対応できない状況です。道路幅員の拡幅の可能性については現地を確認したうえで検討いたします。また、アスファルト舗装についても現地を確認し対応を検討いたします。	建設課
	103	県道146号線における車両の減速対策について	関係機関に村から要望いたします。また安全確認や注意喚起の看板等を設置することは可能なので、自治会長を通して要望していただきたいと思います。	総務課
	104	学校給食無償化への取り組みについて	学校給食の無料に向けて検討しているが難しい状況です。現時点では現行の1/2補助から3/4への拡充を検討しているところです。	教育総務課
105	タカヒージャーの不審者対策及び無断取水について	不審者対策について、看板の設置等を検討いたします。無断取水については、コンクリートで囲う等のご意見もありますが、自治会と意見交換を行い、今後の利活用も視野に入れて対策を検討したいと考えています。	農林水産課	
荻道	106	村シルバー人材センターと協力した空き家対策への取り組みについて	空き家対策として、シルバー人材センターへの委託等も十分考えられるので、環境整備の措置として、協力体制を組めるのであれば一緒にお願したいと思っております。	建設課 福祉課
	107	農村広場（避難場所指定）の汲取式トイレの改修について	災害時の対応として水洗トイレにした場合、逆に水が流れなくなる可能性もあります。改修したほうがいいのか、地域住民と意見交換しながら検討してまいります。	建設課
	108	農村広場横のテニスコートを活用したオオゴマダラの蝶ハウス整備について	ビニールハウスであれば、占用物という形で許可が必要となります。	建設課
	109	ツルヒヨドリ対策について	基本的には私有地であれば個人の責任で対応することになりますが、公道や公共物に影響しているのであれば、公共がこれを撤去する場合も考えられます。自治会の意見としてまとめ要望等を提出していただき、村が対応できるか判断したいと思っております。	住民生活課
	110	コミュニティバスの運行ルートの拡大（普天間廻り）について	運行ルートの見直しを予定していますが、まずは村内全地域（石平、瑞慶覧、鳥袋の一部）を通すことを考えており、現時点では村外ルートは予定していません。ルート見直しの結果を検証後、デマンド交通や村外ルート等について検討したいと思います。	企画振興課
	111	県道146号線のガードレールの修繕について	自治会の要請として提出していただきたいと思います。役場からも要望するが、その時は同行をお願いする事になると思うのでご協力お願いいたします。	建設課 企画振興課
	112	ヒージャーガーの掲示板の撤去又は移設について	掲示板の所有者等の確認も必要のため、いったん持ち帰ってどうするべきか検討させていただきます。	企画振興課
	113	観光スポットとしての遠見台の整備について	その場所の木々が公共施設の一部としてのものなら、対応することも考えられます。いったん持ち帰って検討させていただきます。	建設課 企画振興課
	114	県道146号線の街灯設置及び中城公園周辺の環境整備（樹木の伐採等）について	県道は沖縄県の管轄であり、中城公園も県の管轄です。公共施設なので県に相談となります。	建設課
	115	兄弟広場の利活用について	兄弟広場は荻道と大城の住民と一緒に計画し整備した公園です。村が管轄する公園ですが、皆さんの意見が反映された公園であると認識しています。利用しにくい等があれば役場までご相談ください。	建設課 企画振興課
116	ライカム地区のアリーナ予定地のマンション建設の経緯及びアリーナ計画見直しによる費用負担について	アリーナ計画は、用地交渉が難航しておりましたが、地権者との話し合いでお互いの持ち分で整理し集約をかけて収めた状況です。規模を縮小し、多目的交流施設として事業計画の見直しに取り組んでいます。少なからず村の負担はあります。ただ、これまで採択された補助事業があるので今まで通りの補助事業の一環として継続しつつ、規模を縮小した事業として進める考えです。なお、新たな一般財源を投入する必要があるかと思っておりますが、今後、設計業務を進めていく中で、建設費を算出していくこととなります。	建設課 生涯学習課	
117	公民館建設に向けた自治会の取り組みについて	公民館建設は必ずしも全額公的資金でやるというのではなく、地域で資金造成をして建設する流れになっております。まずは、地域の皆様でどのような公民館にしたいのか、資金計画等を立てて村に要請を上げていただきたいと思います。	生涯学習課	

荻道	118	農を活かした健康福祉の里づくりの情報発信について	村ホームページで情報を閲覧できるように調整中です。また、パネル展示や映像による事業説明等を引き続き実施したいと考えています。	農林水産課
	119	荻堂貝塚の整備計画について	現在、歴史まちづくり計画を策定しており、この計画に含める予定です。計画の策定後、国の補助を活用し整備を進めることができるよう検討いたします。	生涯学習課
	120	中部広域に移行した場合の開発制限の手法及び地域住民への周知について	荻道地区においては、以前から景観協定により景観に配慮した住宅建築の取り組みを行っています。基本的にはこれを継続したい。これから立地適正化計画というものも策定していくが、その中で各地域でまちづくりの方向性について意見交換しながら進めたいと考えています。	建設課
	121	多目的交流施設の整備に係る駐車場問題について	村民体育館の駐車場問題は、多目的交流施設建設予定地に仮設駐車場を設置したことで緩和されているが、施設の工事が始まれば完成まで駐車場問題は出てくると思います。多目的交流施設の駐車場は、村民体育館の駐車場としても利用できるように設計を考えています。	生涯学習課
	122	農地バンク制度の情報発信について	年に2回ほど広報に掲載しています。情報発信、マッチングのような取り組みは窓口で行っています。窓口での説明も実施しているので、是非足を運んでいただければと思います。	農林水産課
	123	北中城中学校入口の停止禁止ゾーンの設置について	現在は看板設置による周知を図っているところですが、しばらく様子を見たらうで今後の対応を検討いたします。	建設課
大城	124	中部広域都市計画区域への移行について	No20と同様	建設課
	125	中部広域都市計画区域への移行に係る乱開発の抑制及び地域住民の意向に配慮した計画の推進について	荻道、大城地区は歴史的な文化価値の高いところで、既存の町並み、風景を残すことは重要であると考えています。開発の規制緩和を期待する声がある一方で、地区の街並みや風景を守りたいという意見もありますので、住民の皆様と意見交換させていただきながらまちづくりを進めてまいります。	建設課
	126	さくら猫（地域猫）の取り組みについて	関係機関や関係者と意見交換しながら改善策を検討し、取り組んでまいります。	住民生活課
	127	県道146号線沿いや地区内への街灯設置について	街灯設置については、交通量が多い場所に設置するもので設置は困難であると考えています。地域の防犯灯設置については、自治会より要望を提出いただいたうで設置の必要性について考えていきます。	建設課 総務課
	128	災害時の街灯の修繕について	リース契約方式でメンテナンスも含めて業者対応とする仕組みを検討しているところですが、	建設課
美崎	129	公園広場の整備について	公園広場については、自治会で管理いただくことで調整しており、覚書を締結する予定としております。また、遊具等の設置について予算確保に努めてまいります。	建設課
	130	空き地の管理、指導について	空き地の雑草が道路にはみ出して通行に支障がある場合には道路管理者として地権者に指導してまいります。なお、村として危険がある等、応急的な対応が必要であると判断した場合は対応いたします。	建設課
	131	ハチの巣撤去について	村または消防で対応するケースがありますので、関係機関と連携して対応いたします。	住民生活課 総務課
	132	堆積した砂浜の撤去及び雑木林の対策について	砂浜の堆積については、防犯の視点から対策について検討いたします。	総務課 建設課
	133	火葬場の整備について	近隣市町村とのプロジェクトに参加しています。また火葬場を運営している市町村との連携など様々な可能性を検討しているところですが、	住民生活課 企画振興課
	134	渡口から島袋に抜ける農道にある建物の指導状況について	当該建物は農業用の作業小屋として建築許可申請が出されています。農業の実態の有無について確認し、実態がなく申請目的と異なるため所有者に指導を実施しました。沖縄県とも共同で注意勧告しており、今後改善が見られなければ許可取り消しとなります。村としても引き続き監視していきたいと考えています。	農林水産課
	135	美崎集会所の施設の充実、改築について	公民館建設については費用の一部を自治会で負担していただいております。美崎地区においても建て替えを検討する際は、資金造成していただきたいと思っております。全ての自治会に適用していることなのでご理解いただきたい。	生涯学習課
	136	区画整理で設置した公園用地の空き地について	土地区画整理事業においては、開発面積に対して一定の公共空間の確保が義務付けられております。公園、空き地、広場として利用するのか、用途は様々ですが、公共の空間として確保する必要があるためそのまま置いておかないといけない事情があります。	建設課
	137	民生委員の配置について	現在、美崎地区の定員定数の割振りは1名となっております。地域の実情に応じた定員定数の変更について、次回の一斉改正の際に検討させていただきたいと考えております。しかし、引き受けていただける方がいないので美崎地区から候補者がいれば今のうちから声掛けいただき、お力を貸していただければと思います。	福祉課
	138	災害時（津波）の避難経路について	過去に沖縄県より避難経路の確保について了承を得ていましたが、住民の合意が得られなかった経緯があります。今後、必要となる場合は、改めて県と調整を進めますので、自治会長を通してご要望ください。美崎地区の皆様には、自主防災会等で、歩ける方は極力徒歩での避難をお願いし、車での避難が必要な方のために道を空けるなどの防災訓練に取り組んでいただきたいと思います。	総務課 福祉課
	139	路上駐車や違法駐車、不法投棄への対応について	自治会から看板設置の要望を提出いただければ検討いたします。また、職員で定期的にパトロールすることについては難しい状況ですが、地域の皆様が常に目を配っているところを見せるのが効果があると思うので、地域活動の方もご協力お願いいたします。	建設課 総務課
	140	防災無線の難聴地域への対応について（1班周辺）	防災無線については、基本的には全地域を網羅して設置しておりますが、天候・風向きによって聞こえにくい場合があります。難聴地域の状況を確認いたします。また、電話により放送内容を確認できる方法がありますので、確認方法について村広報誌で周知いたします。	総務課
	141	防風林の保全について	自治会育成交付金の活用も考えられますので、自治会と調整しながら対応について検討したいと考えております。	総務課
142	野良猫へのエサやり問題について	看板の設置等、対策について関係課と調整いたします。	総務課	
143	地域課題に対する県等への要請について	県や警察等への要請について、引き続き村も協力してまいります。	総務課 企画振興課	

ライカム	144	無電柱化に係る事業者等との調整状況、入線見込について	現在、電力会社に対し、負担割合や維持管理に係る協定案を提示しており回答を待っている状況です。早期の無電柱化の実現に取り組んでまいります。	建設課
	145	ライカム自治会発足に係る取り組みについて	ライカム地区でも子ども会設立の動きがあり、そこから地域の結束が強くなることを期待しています。まずはワークショップ等を通して地域の集まりに参加しやすい環境作りをしていきたいと考えております。	総務課 建設課
	146	私有地から道路に伸びる雑草の対応について	私有地の管理は基本的には土地所有者が行うものですが、危険性が高い場所については村でも応急的に対応しています。危険箇所があればご連絡ください。	建設課
	147	子ども会や青年会の設立に向けた取り組みに対する村のサポートについて	村としても子ども会、青年会など、地域組織の設立に対して協力してまいります。現在実施している取り組みが地域の皆様に認知され、将来的には自治会の結成まで発展することを期待していますので、村としても今後もサポートしてまいります。	生涯学習課
	148	ネーミングライツを活用した子ども会等の活動支援について	ライカム子ども会の設立に向け、エイサー関連の備品購入等にネーミングライツの予算を充当しております。	生涯学習課
	149	字費の徴収方法について	字費の徴収につきましては、村が徴収するものではなく、自治会として区民の合意形成を得たうえで自治会が徴収するものと認識しております。ライカム地区においても、自治会結成後に総会等において字費の金額や用途などを区民の合意のもと決定していくことになると考えています。	総務課
	150	ふるさと納税の活用状況について	本村のふるさと納税寄附先（指定分野）として8項目を設定しています。詳細は村HPでご確認ください。 【URL】 https://www.vill.kitanakagusuku.lg.jp/kakuka/kikaku/chiiiki/hurusatonouzei/3830.html 【QRコード】 	企画振興課
	151	ふるさと納税を活用した学生への学習環境・就学支援の取り組みの充実について	現在、北中城高等学校と協働で1年生を対象に地域探検学習を実施しており、学習を通して課題発見能力、情報収集能力を身につけることで社会に柔軟に対応し、学ぶ意欲の醸成、キャリア教育等に取り組んでいます。今後もふるさと納税の活用の有無に限らず、学習環境の充実に向けて取り組んでまいります。	生涯学習課 企画振興課